

2020年度 第1四半期決算説明会

株式会社ADEKA 2020年8月31日

【証券コード 4401】



2020年度 決算説明

第1四半期

2020年4月1日～2020年6月30日

代表取締役社長 城詰 秀尊



1. 2020年度 連結業績予想
2. 2020年度 第1四半期連結業績
3. 中期経営計画「BEYOND 3000」の進捗状況
4. ご参考

1. 2020年度 連結業績予想



2020年度 連結業績予想

連結

(単位：億円)

	2020年度			2019年度 実績	増減	増減率 (%)
	上期 (予想)	下期 (予想)	通期 (予想)			
売上高	1,350	1,550	2,900	3,041	△ 141	△ 4.6
営業利益	58	102	160	225	△ 65	△ 28.9
経常利益	51	109	160	219	△ 59	△ 27.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	34	66	100	152	△ 52	△ 34.3

1株当たり純利益 (円/株)	32.9円	63.9円	96.9円	147.7円	△ 50.8円
配当金 (円/株)	24円	24円	48円	48円	—

		2020年度上期の前提 (期初)	2019年度実績
為替	円/\$	108.00	108.65
	円/€	120.00	120.82
ナフサ	円/KL	45,000	42,925










注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 1円円安になった場合の為替影響額 (営業利益) : ドルで年間1億円程度、ユーロで年間5千万円程度の収益プラス

COVID-19の業績への影響

前提

2020年度は、特に上半期に需要が落ち込み、下半期以降は緩やかに回復していくとの前提のもと、連結業績予想を算定。

セグメント	マーケット	事業への影響
化学品	 自動車、建材	 樹脂添加剤（添加剤、可塑剤、塩ビ用安定剤） 機能化学品（潤滑油添加剤、特殊エポキシ樹脂、塗料用添加剤、一般工業用薬剤）
	 手洗い・消毒用品	 機能化学品（界面活性剤）
	 電子デバイス（パソコン・テレビ）	 情報・電子化学品（光硬化樹脂、光重合開始剤、半導体材料）
食品	 観光・外食産業（土産菓子）	 食品（マーガリン、ショートニング、フィリング）
	 巣ごもり需要（食パン・大袋菓子）	 食品（マーガリン、ショートニング）
ライフサイエンス	 農薬はCOVID-19によるマイナス影響は小さい 但し、生産・調達への直接的な影響や農業を取り巻く環境変化による間接的な影響を想定	

2020年度 連結業績予想 (セグメント別)

連結

(単位：億円)

	上期予想 (a)	下期予想 (b)	通期予想 (a)+(b)	前年度実績 (c)	増減 (a)+(b)-(c)	増減率 (%)
売上高	1,350	1,550	2,900	3,041	△ 141	△ 4.6
化学品	720	780	1,500	1,641	△ 141	△ 8.6
樹脂添加剤	350	371	721	821	△ 100	△ 12.2
情報・電子化学品	126	139	265	264	0	0.2
機能化学品	244	270	514	556	△ 42	△ 7.6
食品	325	345	670	710	△ 40	△ 5.6
ライフサイエンス	270	385	655	604	50	8.4
その他	35	40	75	85	△ 10	△ 12.2
営業利益	58	102	160	225	△ 65	△ 28.9
化学品	58	71	129	175	△ 46	△ 26.4
樹脂添加剤	19	26	45	66	△ 21	△ 32.0
情報・電子化学品	26	31	57	59	△ 2	△ 4.8
機能化学品	13	14	27	49	△ 22	△ 45.2
食品	2	6	8	15	△ 7	△ 49.1
ライフサイエンス	△ 2	23	21	26	△ 5	△ 19.9
その他	0	2	2	7	△ 5	△ 74.8

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

連結範囲、持分法適用範囲の変更

■ 連結範囲の変更

以下3社の重要性が増したことから、2020年度より連結の範囲に追加

- 艾迪科精細化工（浙江）

中国 | 樹脂添加剤などの化学製品の製造、販売

- ADEKA AL OTAIBA MIDDLE EAST

UAE | 樹脂添加剤などの製造、販売

- NICHINO EUROPE

英国 | 欧州における農薬の販売、普及、開発、登録など

■ 持分法適用範囲の変更

重要性が増したことから、2020年度より持分法適用の範囲に追加

- NICHINO VIETNAM

ベトナム | ベトナムにおける農薬の輸出入、開発、販売、普及など

2. 2020年度 第1四半期連結業績



連結業績の概要

連結

(単位：億円)

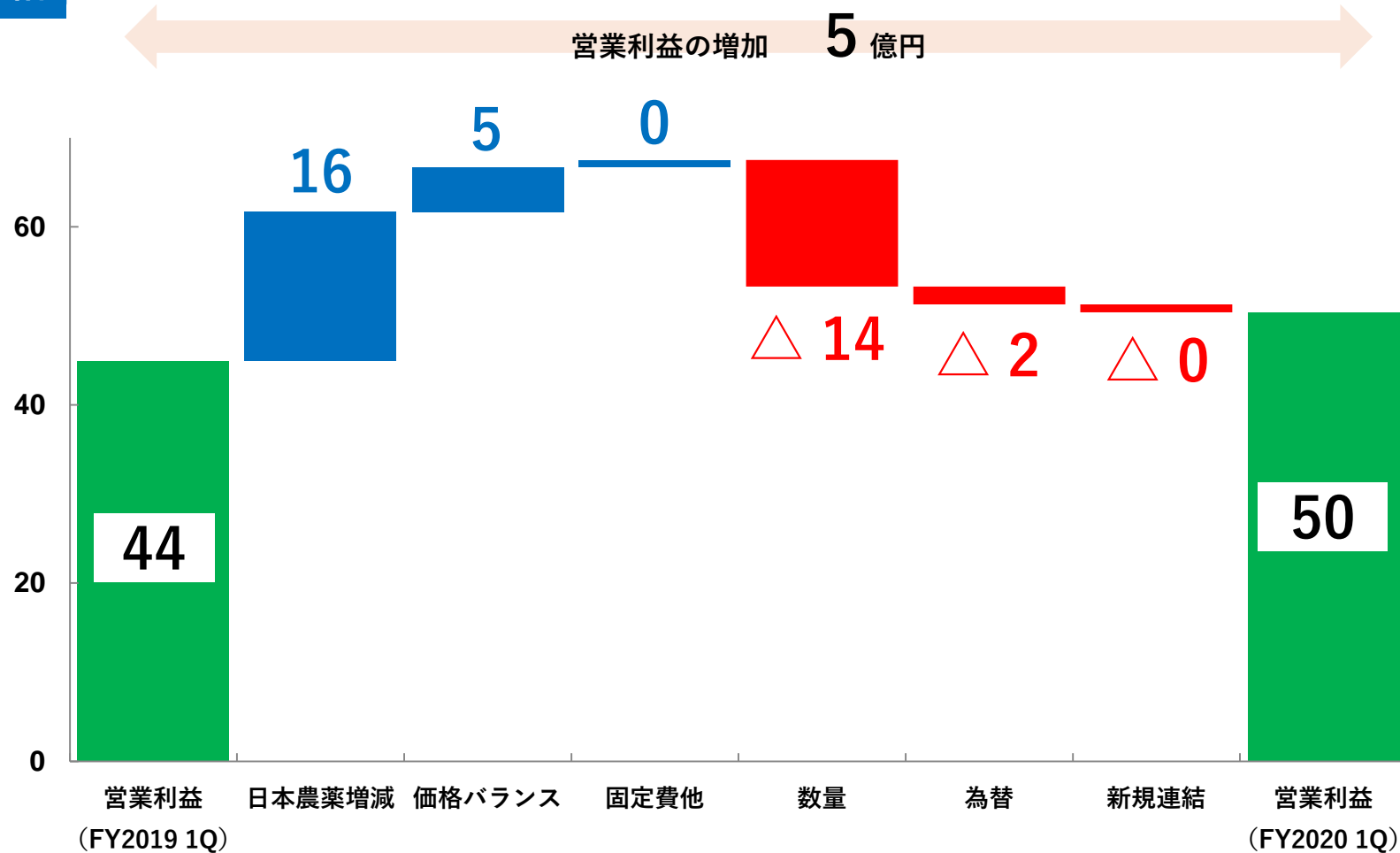
	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	増減	増減率 (%)
売上高	701	678	△ 23	△ 3.3
営業利益	44	50	5	12.3
経常利益	42	45	2	6.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	32	31	△ 1	△ 3.4
1株当たり 四半期純利益 (円/株)	31.2円	30.1円	△ 1.1円	

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

営業利益の増減分析

連結

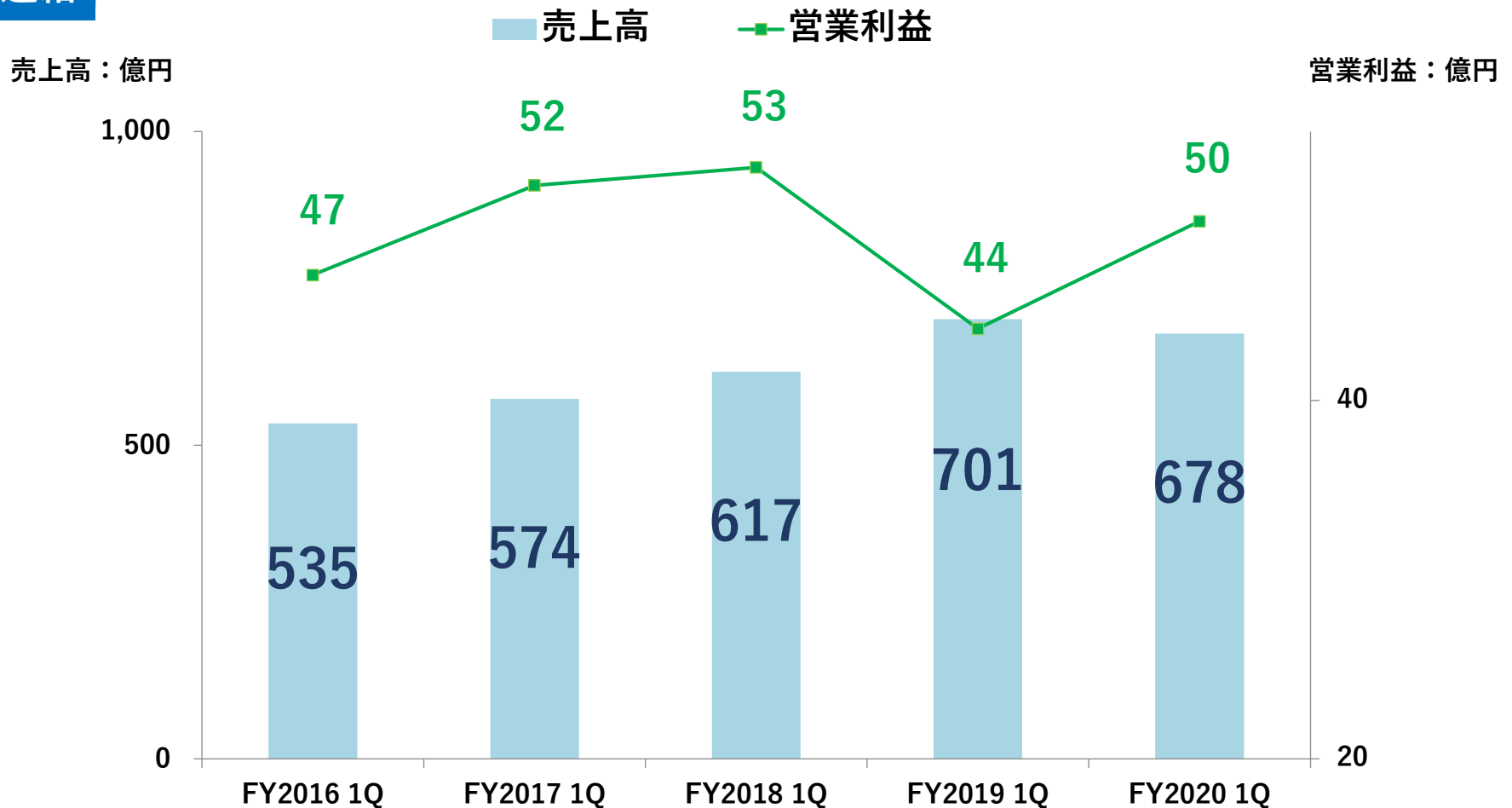
(単位：億円)



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

連結業績推移

連結

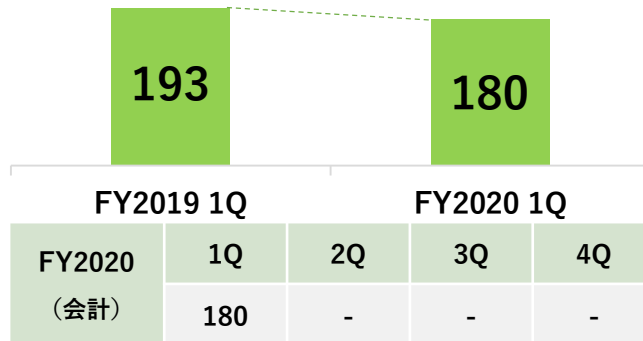


注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

化学品事業（樹脂添加剤）

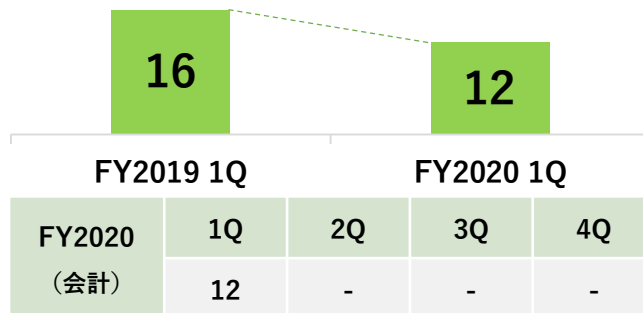
◆ 売上高

△ 6.9% (単位：億円)



◆ 営業利益

△ 25.6% (単位：億円)



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

主な要因（対前年同期）

- ◆ 自動車
 - 低調 核剤、光安定剤、ゴム用可塑剤
- ◆ 建材
 - 低調 塩ビ用安定剤
- ◆ 食品包装・医療用途
 - 伸長 透明化剤、塩ビ用安定剤
- ◆ プラスチック製品全般
 - 低調 酸化防止剤
- ◆ 家電筐体
 - 堅調 エンジニアリングプラスチック用難燃剤

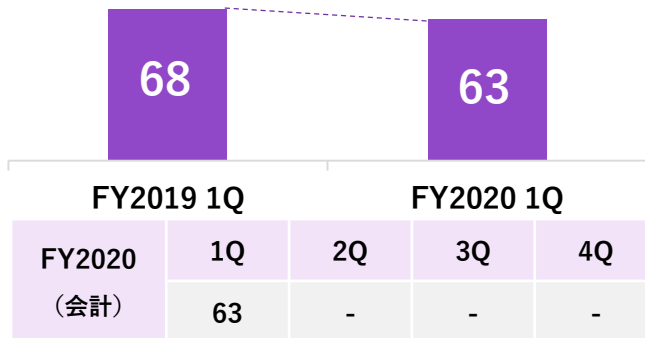
主な要因（対前年同期）



化学品事業（情報・電子化学品）

◆ 売上高

△ 6.7% (単位：億円)



主な要因（対前年同期）

◆ 半導体

好調

リソグラフィ用途 光酸発生剤

低調

DRAM向け既存製品（高誘電材料他）

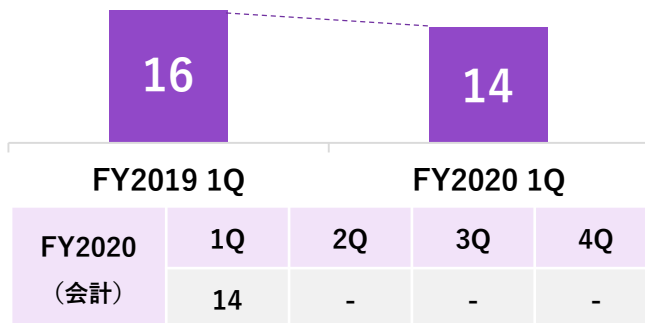
◆ ディ스플레이

低調

光硬化樹脂、光重合開始剤、
プリント基板用エッチング薬液

◆ 営業利益

△ 12.3% (単位：億円)



主な要因（対前年同期）

価格バランス

△ 1億円

数量

△ 0億円

為替

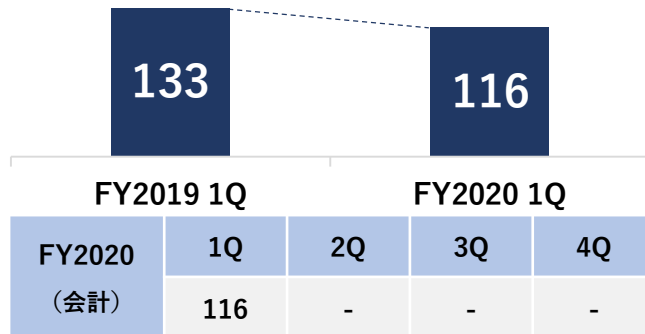
△ 0億円

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

化学品事業（機能化学品）

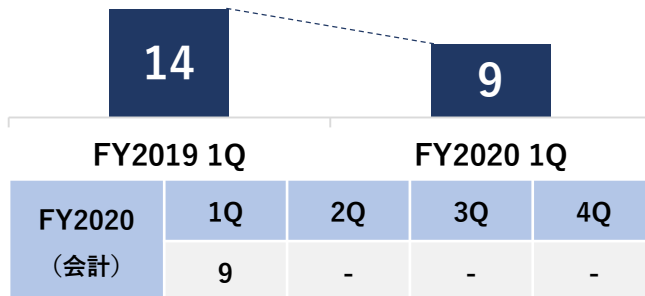
◆ 売上高

△ 12.6% (単位：億円)



◆ 営業利益

△ 31.8% (単位：億円)



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

主な要因（対前年同期）

◆ 自動車

低調

エンジンオイル用潤滑油添加剤、
特殊エポキシ樹脂

◆ 一般工業向け

低調

界面活性剤、過酸化製品、
プロピレングリコール

◆ 化粧品・トイレタリー

堅調

手洗い・消毒向け製品（界面活性剤）

低調

化粧品原料

主な要因（対前年同期）

数量

△ 5億円

価格バランス

4億円

固定費他

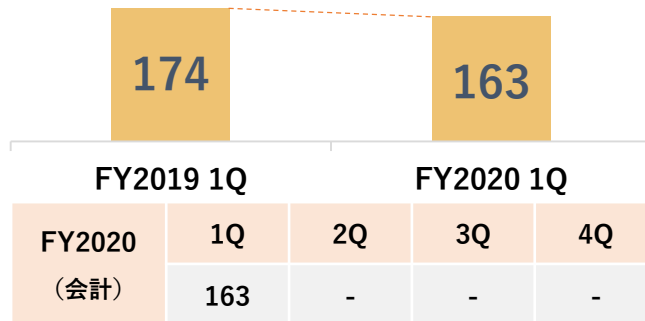
△ 2億円

食品事業

◆ 売上高

(単位：億円)

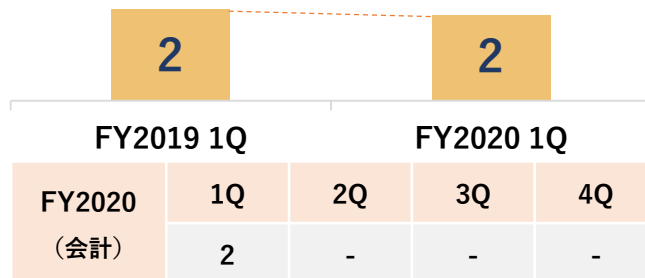
△ 6.1%



◆ 営業利益

(単位：億円)

△ 6.0%



主な要因 (対前年同期)

◆ 製パン、製菓、カレー・ラーメン (国内)

堅調 マーガリン、ショートニング類

◆ 製パン (中国・東南アジア)

低調 マーガリン類

◆ 洋菓子・デザート

堅調 ホイップクリーム

◆ 土産菓子

低調 マーガリン、ショートニング、フィリング類

主な要因 (対前年同期)

数量

△ 2億円

固定費他

1億円

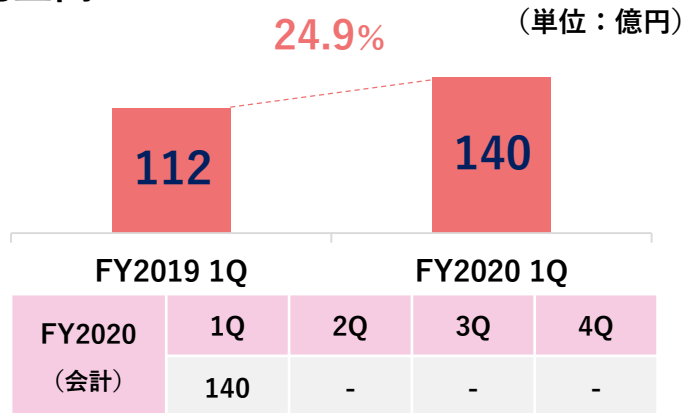
価格バランス

0億円

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

ライフサイエンス事業（日本農薬）

◆ 売上高



主な要因（対前年同期）

◆ 農薬

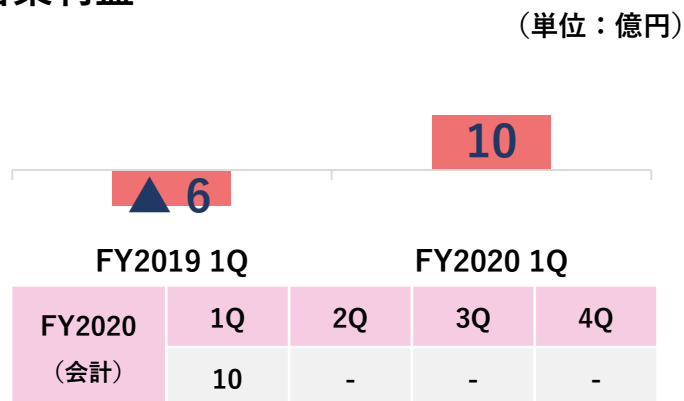
好調 国内、北米、欧州、インド

低調 ブラジル

◆ 医薬品

好調 爪白癬分野
外用抗真菌剤「ルリコナゾール」

◆ 営業利益



主な要因（対前年同期）

海外での農薬販売の拡大と国内の商慣習改善による増収効果に伴い、増益となった

< 海外での農薬販売の拡大 >

- ・ COVID-19による流通への影響懸念を背景とした需要の先取りが第1四半期も継続
- ・ 欧州での規制強化により、除草剤等の需要が拡大（他社剤からの切替）

< 国内の商慣習改善 >

- ・ 農薬の使用時期および流通実態に即して販売を平準化

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

3. 中期経営計画「BEYOND 3000」の進捗状況



中期経営計画「BEYOND 3000」進捗

	2018年度実績 (中計1年目)	2019年度実績 (中計2年目)	2020年度予想 (中計最終年度)	中計最終年度 (目標値)
連結売上高	2,993億円	3,041億円	2,900億円	3,000億円超 (オーガニックグロース)
内、オーガニック グロース	2,550億円	2,388億円		
営業利益率	8.9%	7.4%	5.5%	10%
R O E	8.5%	7.3%	4.8%	10%
投 融 資	362億円/年	172億円/年	150億円/年	1,000億円/3カ年
設備投資額	174億円/年	172億円/年	150億円/年	500億円/3カ年
M & A 投資枠	188億円実行	—	—	500億円/3カ年
配 当	配当性向27.1%	配当性向32.5%	配当性向49.5%	配当性向30% (段階的に引き上げた最終年度目標)

* オーガニックグロース：樹脂添加剤、化学品、食品の事業成長で売上高3,000億円超を目指す計画（M&A寄与分を除く）。

4. ご参考



コーポレートスローガンを制定



Add Goodness

すべてのものは、今より良くできる。
くらしに、さらなる豊かさや便利さ、
安心をもたらすために。
素材に、さらなる機能性や耐久性、
環境性能をプラスする。
私たちは、素材の価値を高める。
そして、素材を「素材」に変える。
私たちは、アデカです。

ADEKA

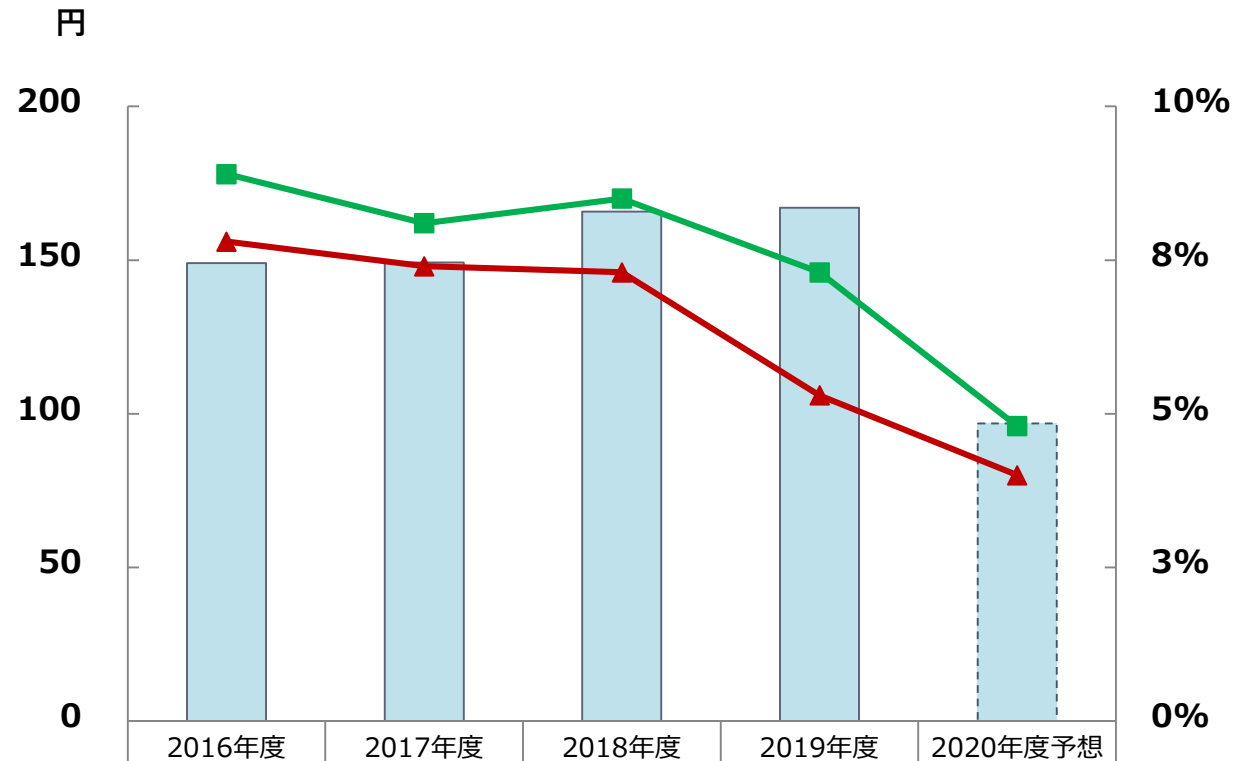
2020年度 第1四半期 決算説明補足資料

1. 連結決算補足資料
2. 経営指標等
3. ご参考



2-1 収益性

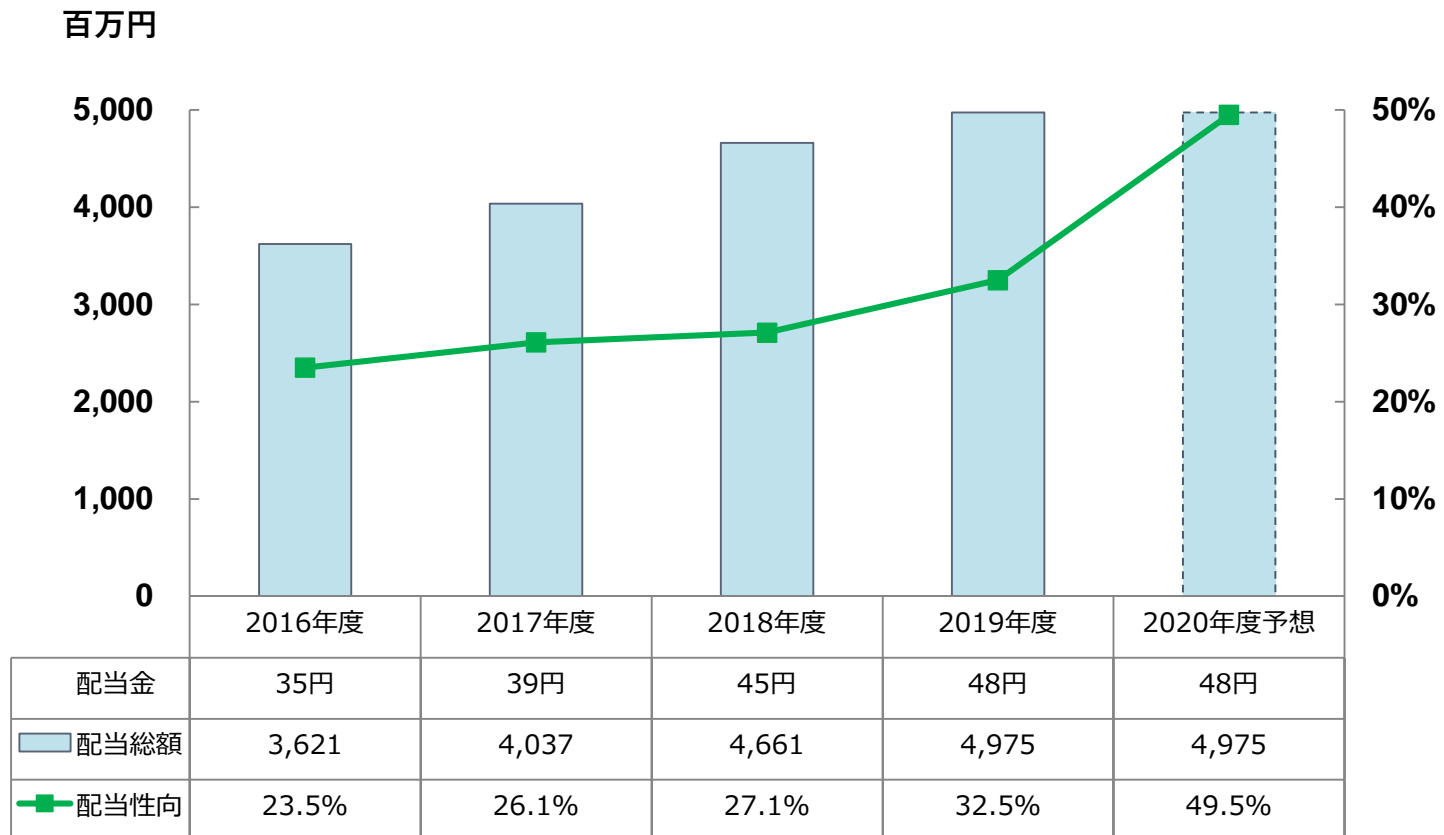
連結



■ EPS (1株当り当期純利益)	149.0円	149.2円	165.8円	147.7円	96.9円
■ ROE (自己資本当期純利益率)	8.9%	8.1%	8.5%	7.3%	4.8%
▲ ROA (総資産経常利益率)	7.8%	7.4%	7.3%	5.3%	4.0%

2-2 配当金、配当性向

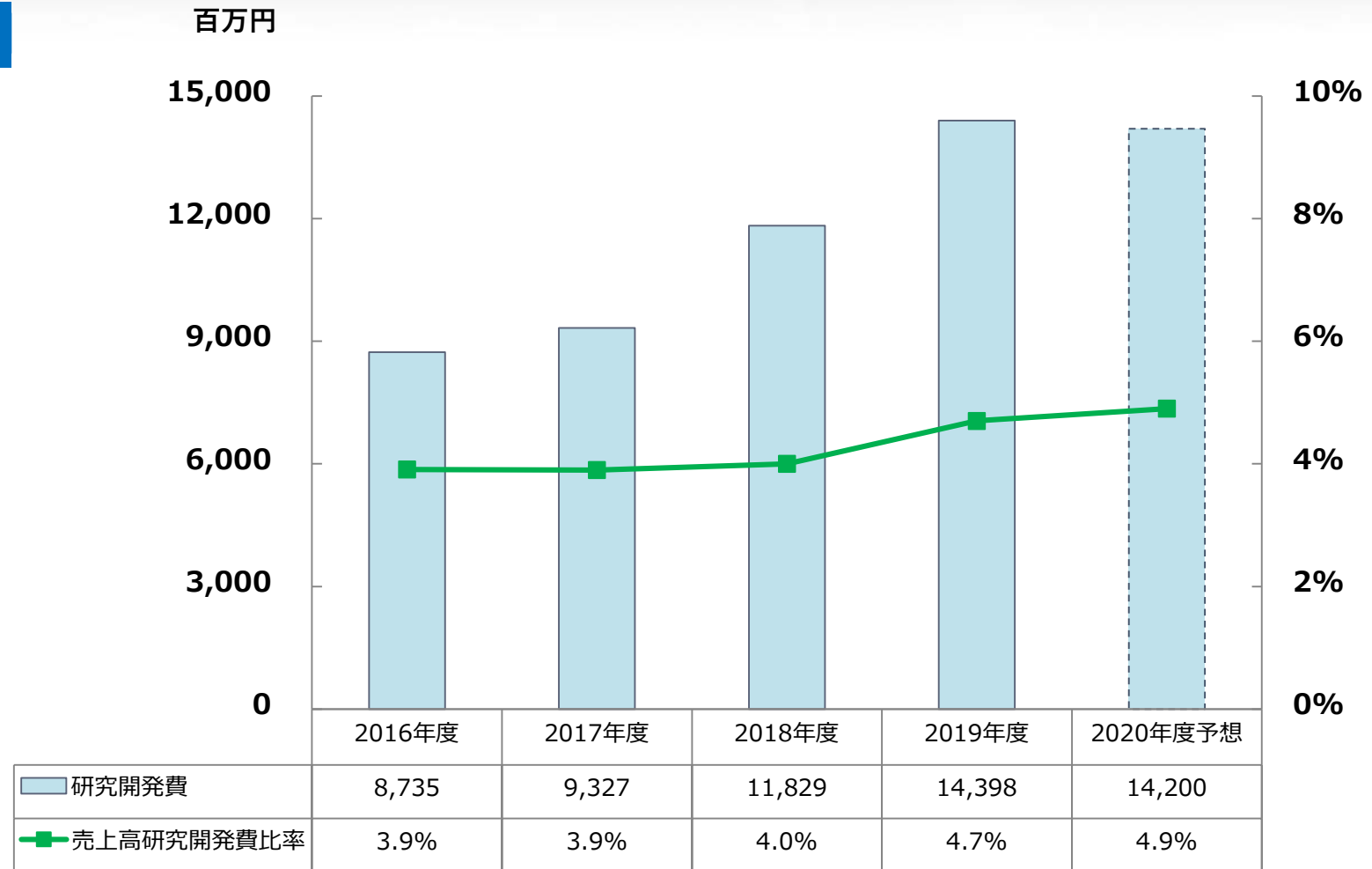
連結



注1) 2016年度の配当金には、創立100周年記念配当金5円を含む 注2) 配当総額は百万円未満を切り捨てて表示

2-3 研究開発費

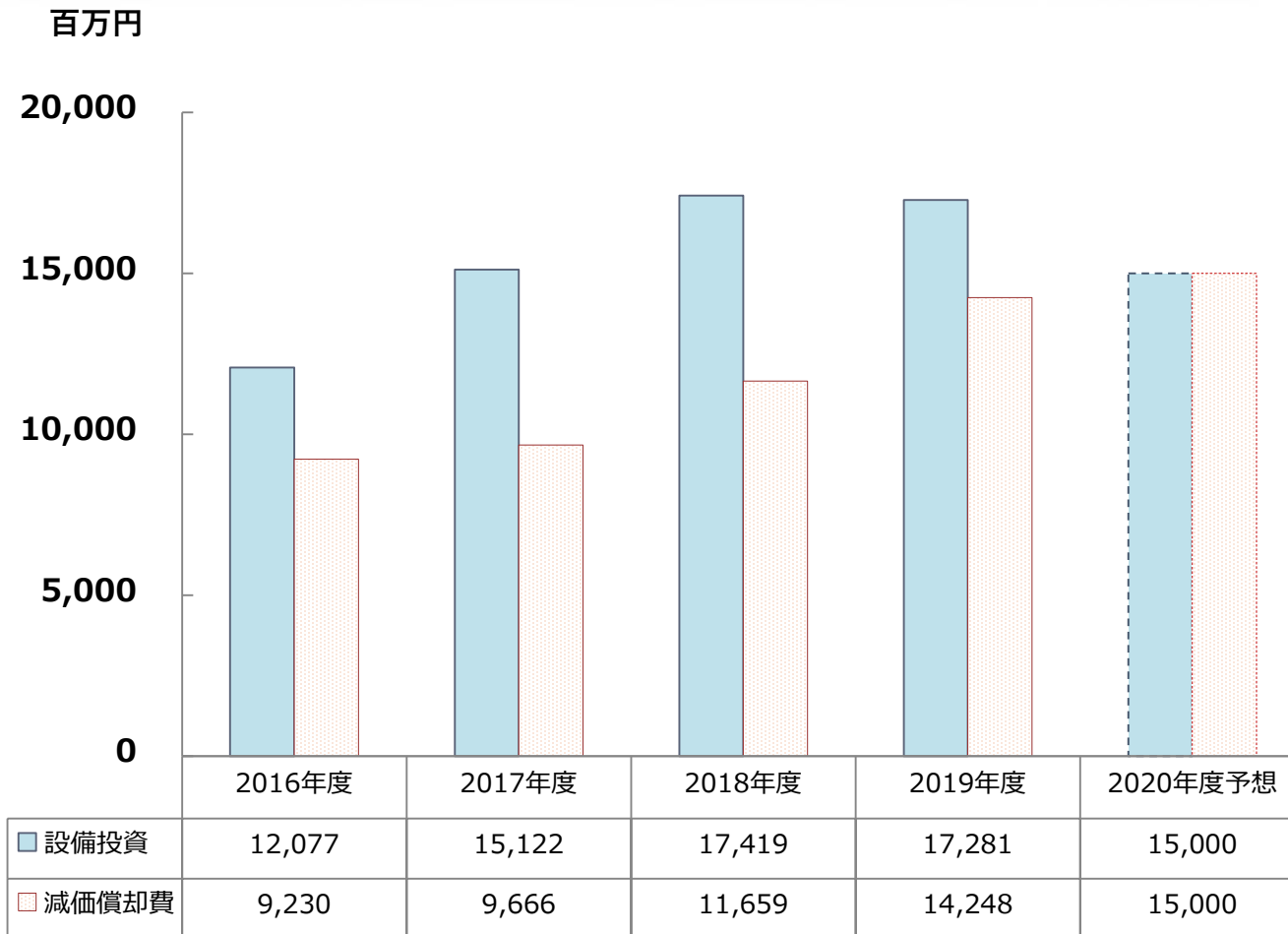
連結



注) 研究開発費は百万円未満を切り捨てて表示

2-4 設備投資

連結



注) 設備投資、減価償却費は百万円未満を切り捨てて表示

3 事業区分別主力製品

事業区分		主要製品	
報告セグメント	化学品事業	樹脂添加剤	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、その他
		情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光硬化樹脂、光開始剤、画像材料、その他
		機能化学品	エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、水膨張性シール材、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ用油脂、ホイップクリーム、練り込み用クリーム、フィリング類、冷凍パイ生地、マヨネーズ・ドレッシング、機能性食品素材、その他	
	ライフサイエンス事業	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材用薬品、医療材料等	
	その他	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輛等リース、不動産業、保険代理業、その他	

業績予想・事業計画に関する注意事項

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。